

## 保育計画成果報告書

法人名等	(個人)
施設名	涌谷修紅幼稚舎
報告者(役職)	佐々木 美代(事務局長)
住所・連絡先	宮城県遠田郡涌谷町字追廻町17
	☎0229 43 5155
	E-mail

### ○タイトル(保育計画)

外遊びで得られる体験を通して「健康なからだ」と「強いこころ」の育成を促す

### ○主な助成備品

FPR製 スチーム号

## 1. 保育計画策定の目的

当園は50年以上の間、幼稚園として営んでおりましたが、この度、待機児童問題の解消を目的として小規模保育事業施設として開園いたしました。

田園風景の広がる宮城県の地で、広い園庭をいかして、のびのびと体を動かして、子どもたちの健康な体を育成すること、また、園庭の隅に農園スペースを設けて季節の野菜や四季折々の花を育てることで自然を身近に感じながら食育や季節感の発育を目指すなど、野外での活動を積極的に取り入れた保育計画を実施しております。

そのような保育環境を背景として、この度、小規模保育施設事業の開始にともない、新たに入園してきた低年齢の児童たちにも積極的に外へ出て遊んでもらえるような環境づくりをしていきたいという、強い願いに基づき、今回の保育計画策定に至っております。

## 2. 具体的な実施内容

<FPR製 スチーム号>

低年齢児向け大型園庭遊具の設置により、初めての外あそびに楽しく学べる場を提供してくれています。

### 3. その成果と評価

これまでの園庭には据え置き型の遊具としては滑り台やジャングルジムなどが設置されておりますが、0～3歳児クラスの児童があそべるような遊具がありませんでした。

この遊具はFPR製のため低年齢層の子どもたちにとって安全で、しかも、アニメや絵本の中でもおなじみのSLのかたちと赤や青のビビットな色彩は、園庭で初めてあそぶ子どもたちを強くひきつけてくれて、外へ出ることへのワクワク感を創出してくれています。

また、言葉を発し始める年齢の子どもたちには、この遊具でのあそびをとおして、「ポッポー」といった簡単な発音を学ぶところから、ごっこあそびへと自然に発達段階の移行を促してくれています。

内部にはハンドルがついていたり、複数の子どもたちであそべるようベンチがついていたりしており、さまざまなごっこあそびや象徴遊びができるような仕掛けが施されており、あそびから友だちとのかかわりを学んでくれています。

●はじめての外あそびでスチーム号に乗る子どもたちは先生に見守られながら。緊張のようです。



●やがて創意工夫を凝らして自分たちの遊び方をみつけていき、積極的におもちゃに関わっていきます。





#### 4. 今後の課題と展望

スチーム号を設置することで、子どもたち自身があそびに創意工夫を凝らすことができている様子を見てとることができました。

今後は、それぞれの子どもに対する外遊びの課題やねらいを明確にして、それらを達成するための補助としてもっと活用できるよう職員全員であそびの工夫を考えていきたいです。

低年齢児が遊べるような遊具がなかったため、外あそびへ興味をもたせるきっかけを作ってくださったことを大変感謝いたしております。

令和のはじめにやってきたこのSL号を末永く愛される園庭のシンボルとして今後も大切に使用させていただきます。

誠にありがとうございました。

以上